

<報道発表資料>

令和8年10月10日
京都市文化市民局動物園

京都市動物園

グレビーシマウマの死亡

この度、京都市動物園で飼育しているグレビーシマウマの「ミナト」が死亡しましたのでお知らせいたします。これにより、当園で飼育しているシマウマはいなくなります。



ミナト

【死亡した個体について】

- 愛称 ミナト
- 性別 オス
- 死亡日時 令和8年10月10日（土）午前10時30分
- 死因 調査中
- 生年月日 令和2年7月24日（金）（当園生まれ）
- その他 父親「ナナト」と母親「ミンディー」の第2子です。
 ナナトは令和7年12月、ミンディーは令和8年3月に、東京都多摩動物公園に転出しています。

【経過】

10月7日

夕方、グラウンドで伏臥。呼びかけで頭部挙上。

刺激すると起立。数分後に歩行し、下草をはむ。夜間放飼で経過観察。

10月8日

日中はグラウンド放飼。グラウンド内に2ヶ所排便あり。便状良好。

昼頃より跛行が見られたため、消炎鎮痛剤を注射。室内収容とし経過を観察。

10月9日

朝から起立不能。右前肢動かず。レントゲン撮影の結果、上腕骨から遠位に骨折なし。

抗菌薬・消炎鎮痛剤注射。血液検査実施。

10月10日

午前10時30分、死亡確認。

【参考】グレビーシマウマ（奇蹄目 ウマ科 英名：Grevy's Zebra 学名：*Equus grevyi*）

平成30年時点で、エチオピア・ケニアに約2,800頭が生息していると推定されています。野生のウマの中で最も大きく、体高：140～160センチメートル、体重：350～420キログラムで、飼育下での寿命は22～30年とされています。

IUCN（国際自然保護連合）のレッドリストでは絶滅危惧種として記載され、ワシントン条約では付属書Ⅰ「絶滅のおそれのある種で取引により影響を受けるもの」に掲載されています。

令和7年12月末現在、国内では8園で16頭（オス12頭、メス4頭）が飼育されています（今回死亡した個体を含みます。）。

<お問合せ先>

京都市文化市民局動物園 総務課

電話：075-771-0210

午前9時から午後5時まで。ただし、動物園休園日を除く。



京都市文化市民局動物園